

サロベツ湿原センター発・“旬”を伝える

サロベツ湿原だより 9月号

今のおすすめは「秋色に染まる湿原」です



昼間あたたかい日でも、朝晩はひんやりするサロベツでは、ひと朝ごとに湿原が黄色く変わっています。背が高くなったヌマガヤやヨシなどがわさわさと風に揺れ、秋のお花のエゾリンドウやミヤマアキノキリンソウなどが楚々と咲く木道は、心に染み入る風景です。この時期は、色や形もさまざまな実やタネの観察もおもしろく、動物や水、風などの自然をうまく利用する植物たちの戦略は、じつにあっばれです。

【 サロベツの小さな秋たち 】



【 オオヒシクイの季節です 】



国の天然記念物であるオオヒシクイは、夏はロシアで過ごし、日本の本州で冬を過ごすために渡ってくる渡り鳥です。サロベツは日本最大の中継地となっていて、にぎやかに鳴きながら大空を行き来しているのが見られます。

【発行】 サロベツの大地とあなたをむすぶ

認定 NPO 法人サロベツ・エコ・ネットワーク

TEL 0162-82-3950

Eメール info@sarobetsu.or.jp

ホームページ『サロエコ』で検索

http://sarobetsu.or.jp/

Facebook も見てね！